

骨転移患者における骨関連事象とカンファレンスの関連についての研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年、がんになる患者さんの増加に伴い“がんロコモ”と呼ばれる疾患概念が提唱されています。

“がんロコモ”とは、がん自体あるいは「がん」の治療によって、骨や関節、筋肉など運動器の障害が起きて歩行等の移動機能が低下した状態をいいます。これが進行すると、日常生活が不自由になり、介護が必要になるリスクが高まるだけでなく、がんの治療自体にも影響します。

特にがんが骨に転移した場合は、痛みや骨折、麻痺を生じるため、運動管理とリハビリテーション診療による悪化予防が重要であるといわれています。適切な治療方針決定のためには、多職種多診療科によるチーム連携が必要です。

今回、当院における骨関連事象とカンファレンスの関連性を明らかにし、多職種多診療科によるチーム医療が行えているか検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

骨転移があり 2023 年 10 月～2024 年 10 月に当院でリハビリテーションを受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、入院日、骨関連事象の有無、カンファレンスの有無、日常生活活動の程度など

使用開始予定日：2025 年 2 月 20 日

研究予定期間

2025 年 2 月 20 日～2025 年 11 月 9 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 和田真

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 和田真

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)